



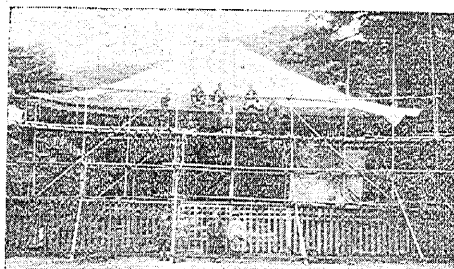
仕事ではないのであるから  
此精神を以て、當局を鞭撻  
する事でありませう。従来  
選挙にあつては、與野兩黨  
がはつきり居つて、公  
明正大に之を断行しては、  
私共を有して居る事を、私  
共は喜ぶものであります。  
最後に私共の大に其肅正を  
謀りたいと思ふのは、運動  
費の出所に關してでありま  
す。從來の消息に徴するに  
其資力十分なるものは別と  
して、之が調達にはあらゆる  
手段方法を講じ、當選を當  
てこんで、賞ひ集め、借り集  
めるのであります。肅正を  
はかる事は、容易ではない  
のであるが、墮落腐敗の根  
本は、ここに胚胎するもの  
なるが故に、我々は最善を  
盡して、そうした方面に迄  
考慮を置いて、努力すべき  
であると思はれます。  
頗る不備ながら以上を以て  
私の答申といたします。

(附記) 本紙及以上列舉し  
たる内郷村報綴は、之を三  
十部作製して、委員諸子全  
部に贈呈しました。而して  
此機会に於て、委員諸子に  
對し、謙愛國の至情より、  
不遜の言辭を弄したる事を  
謝罪し、近く開かるべき委  
員會に於て、小生の持論及  
具體策に對して諸子から親  
しく忌憚なき高教を仰ぐこ  
とを期待して居ります。而し  
て私の主張にして、非とす

る点あらば、潔よく之を撤  
廢して訂正する事を、茲に  
宣誓すると共に、若し又は

### 國寶阿彌陀堂の修理

本紙既報の通り、大字白水  
なる國寶阿彌陀堂の修理工  
事は、文部省技師乾兼松、  
本縣技手河島又治兩氏監督  
の下に、特に京都より招聘  
したる、國寶建造物専門屋



堂陀彌阿の中事工理修

根職大工職の手によりて、  
修理工事に着手し、七月一  
杯に完成する豫定である。  
屋根木羽の材料は、木會産  
の榿、廻廊の材料は、臺灣  
産の檜にして、工費は本堂  
と外柵で一萬八千七百圓を要  
し、この外廣く一般から淨  
財の喜捨を仰ぎ、約三千圓  
を投じて道路の開き、火災

とする点あらば、虚心坦懐  
之を採擇せられん事を、懇  
願いたす次第であります。  
(六月九日稿)

に備ふる爲、火防用水池を  
つくる計畫である。而して  
竣工後に於て、村内一般の  
聲援を得て、保存會を設立  
する目論見の由である。

### 本村四校 聯合修學旅行

村内四小學校上級兒童六  
百九十八名は、三十七名の  
職員十七名の父兄、金澤助  
役渡邊書記、生田、馬目、  
上原、山崎、園部、鈴木の  
六學務委員、島田、高萩、  
五十嵐三校醫の諸氏並びに  
看護婦三名寫眞師一名に附  
添はれ、總員七百六十七名  
と共に去る六月四日午前三  
時十分特別仕立列車十輛に  
て繰發、八時十四分原宿  
驛着、徒歩にて明治神宮參  
拜、大型二十臺小型四臺の  
遊覽自動車に分乘して泉岳  
寺見學、宮城遙拜、靖國神  
社、淺草觀音參詣、遊就館地  
下鐵上野公園動物園等見學  
して、午後六時十五分上野  
驛發、同十五分無事經驛に  
歸着した。此日東京も生憎

の雨天であつたので、學務  
委員會議の上村費負擔とし  
て率四百余本を購入して兒  
童にさへせたるは機宜を得  
たるものとして父兄より感  
謝された。而して磐炭の東  
京本社からは例年の通り全  
部に對して學用品一袋と繪  
葉書の寄贈があり、本村兒  
童教育後援會からは貧困兒  
童十數名に一圓五十錢宛を  
贈り又加藤學務委員からは  
同じく三名の貧困兒童に服  
裝迄贈つて此の一行に加は  
らしめたこの事である。  
(渡邊清也稿)

### 農繁期託兒所

本村方面委員が、多年翹望  
計畫中であつた農繁期託兒  
所が、偶然にも此程大字御  
厩阿彌陀寺住職に新任した  
る、和田法順氏によつて六  
月一日より開始せられた。  
之を開いた我方面委員會で  
は、直ちに田口山下大内の  
三委員之が視察調査にあた  
りたるが、收容兒童四歳以  
上學齡以下三十余名で、師  
夫妻及保母一人が其經營に  
あたり、晝食おやつ等をも  
給し、それ、朝九時より  
三時迄の課程を定め、成績  
をあげつ、あるに鑑み、今  
後本村助成會よりも、相當  
の補助聲援する事に決定し  
て、其手續き中である。尙

### 方面委員任命

本村第七方面區内町擔任の  
宮本鐵太郎氏物故缺員中で  
あつた後任として、村議草  
野三千雄氏新に方面委員に  
任命された。

### 海軍記念映畫

本村在郷軍人分會海軍班主  
催で、五月二十九日淺野翁  
頌德記念館に於て、晝夜二  
回に涉り、教育映畫を開催  
二回共千三百の入場者あり  
頗る盛會であつた。因に寫  
眞は縣社會課のもので、辨  
士は錦織社會事業主事補で  
あつた。

### 磐青野球試合

年中行事の一つである青年  
會支部對坑野球試合は五月  
二十六日午後二時より金坂  
球場に開いた。各支部とも  
必勝を期して戦つたが榮冠  
は遂に峯根支部の手に飯  
會始めて以來の好成績だつ  
た。午後六時賞状及金賞封  
を授與があつた。

### 日本評論社

發行所 東京三丁目  
取次所 内郷村報社

### 教育制度改革概論

矢野 恒太 大内民惠 著  
服部宇之吉序 (四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體し  
て、學理と實際と、歴史と實際とが  
ら新に大内民惠九主義を提唱す。天下  
知名の士の賛同敬慕に違あらず。さ  
れど未だ一人の抗議者も現はれず。

### 我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士  
書を著して曰く、多年ノ御體験下實地  
ノ御試練ニ基キ眞學實國ノ大精神ヲ拜  
味仕リ不思議感激ニ打テ申候云々。

### 大運動會

組合書記 平野 諭

### 内郷村報社

の拍手の雨、やがて國歌奏樂裡に  
四方部主將の手によつて、大國旗  
が柱頭高く擧げられた。ついで磐  
炭の慈父と慕はる、會長たる濱  
崎理事長の温顔が、マイクの前に

入山炭礦殉難者へ  
弔慰金を贈る

田中幹事長一場の挨拶をな  
した、空腹に積め込んでホ  
ツトしたて思ひひくの  
行事なしで皆な思ひひくの  
行事なしで皆な思ひひくの

磐炭の名物、我健康保險組合主催  
組合書記 平野 諭

員會に於て、小生の持論及具體策に對して諸子から親しく忌憚なき高教を仰ぐこと期待して居ります。而して私の主張にして、非とす

矢野 恒太序 大内民惠著  
**教育制度改革概論**  
 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理を實際に、歴史を實際にから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同敬慕に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威  
 前京大總長小西重直博士  
 書を寄せて曰く、多年の御體験と實地ノ御試練ニ基ク眞學愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思議ニ打テ申候云々。

發行所  
 東京橋本三丁目  
**日本評論社**  
 取次所  
**内郷村報社**

と外柵で一萬八十七圓を要し、この外廣く一般から淨財の喜捨を仰ぎ、約三千圓を投じて道路を開き、火災

下鐵上野公園動物園等見學して、午後六時十五分上野驛發同十時五分無事歸郷に歸着した。此日東京も生憎

をあげつゝあるに鑑み、今後本村助成會よりも、相當の補助發援する事に決定し、其手續中である。尙

◎本報贊助金寄附芳名  
 金五拾圓 桑折氏 家利子  
 金壹圓 東京無内宗太  
 金壹圓 福島櫻井仁吾  
 金貳圓 福島櫻井仁吾

**入山炭礦殉難者へ弔慰金を贈る**

五月三十日入山炭礦に於ける、大慘禍の報が傳はるや、磐炭に於ては、即刻檄を飛ばして、弔慰金募集に着手したるに、全山の同情超然としてあつまり、僅か一日にして、職員一同よりは壹百貳拾六圓、從業員有志よりは、四百五拾九圓貳拾錢合計金五百八拾五圓貳拾錢の應募を見、直ちに之を贈呈した。從業員有志の方面別金額人員數は左の通りである。

**修養團遠足**  
(風來坊)

修養團磐城炭礦支部主催の遠足は六月二日の好天に恵まれ高野入の湯方面に向き出發した。午前九時參加者五十餘名一行は田中幹事長の引率にて風薫り緑滴る高野街道を右に左に總つて神泉亭に着いた。汗ばんだ体をトゾリと湯に浸つて伸びりした気分になつて微吟殊の外宜しく快適三昧の境だ！浴槽の窓に見る木々の翠を眺めて六月の空は明朗だ。排聖氣取りで一句捨てたものみは

**陸軍被服縫製**  
 從事者七十人

本紙既報の通り、本村に於ては、救済の目的を以て、去る三月陸軍被服の縫製を開始したるに、何れも熱心の結果、見るべき成績を挙げ、今や七十人の人々が満足して之に従事して居る。

**内郷女青清遊**

六月二日内郷女子青年會々

緑りばかりや神泉亭ナント此の傑句？三々五々蘭を採る者山羊に戯れる者、池畔の鯉に興ずる者、四阿に集つて何か頻りに氣焔を吐く者等々ハイキング六月の空は、ても明るく地は歡びの聲に満ちてゐる。やがて一堂に會して午餐、

**陸上競技**  
 陸上競技部 宇野源一郎

六月二日午後一時半から金坂グラウンドに、強豪仙鐵を交へた。彼れ仙鐵は早大出の木村石原佐藤北之坊、今春迄東都學生競技界に名を馳せた人々を中心編成した強チームだつた爲、我々の力闘も遂に及ばず、十三對十四の得点を以て慘敗した。(記録は余白なきで以て略す)仙鐵車がグラウンドのコンディションが甚だ悪く、各選手が十分に實力を發揮し得なかつた事は氣に毒であつた。競技の経過は仙鐵の一方的な試合であつたが我々の得た事は大き

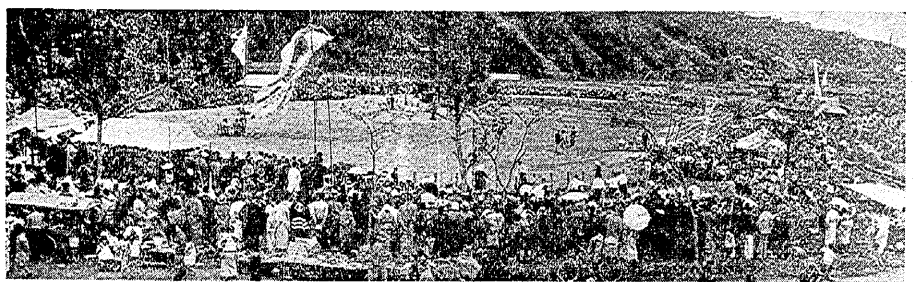
**佐藤校長**  
 高坂校長佐藤一氏は五

月下旬神戸市に開かれた全國小學校教員大會に出席、二十五日湊川神社に於ける楠公六百年祭に參列、二十九日歸校した。

**方面委員會**  
 六月六日

晩餐打合會を開催、種々重要事項を協議決定する處であつた。(但自費)

**大運動會**  
 磐城炭礦健康保險組合主催  
 大運動會は、五月十九日磐城グラ



磐城炭礦健康保險組合主催大運動會全景

ンドに於て舉行せられた。夜來の雨はからり晴れて太陽は燦々として若葉の露を照して居る。昨年の覇者級を先頭に、樂隊の行進曲も勇ましく、除伍堂々選手の入場式がある。周囲を埋めた観衆二萬

の拍手の雨、やがて國歌奏樂裡に四方部主將の手によつて、大國旗が柱頭高く擧げられた。ついで磐炭の慈父と慕はる、會長たる崎理事長の温顔が、マイクの前にあらはれる。

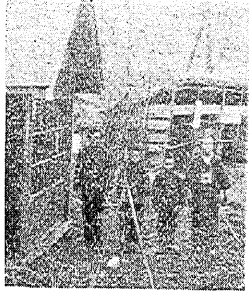
「……此喜れたる好日和をトし、第六回の大運動會を催す事は諸君と共に、慶賀に堪へない。人生の幸福は身体の健康なる者にのみ入へられた特權である。人健かなれば國強し、諸君は之を目標として、非常時日本の國難に當り、益々健康に留意し、完全なる身体の持主となり、家の爲會社の爲國家の爲汗を惜まず働かれん事を祈るものである。本日はよく日頃鍛へた技を競ふのである。敗れるも勝つ時の運であり、敗つても一層技を練り、勝つて尙兎の緒をしめ、層一層斯道に精進せられん事を云々……」

「……」と詳々体育の必要と健康の増進に就いて強調して、一場の挨拶を述べられた。次に長嶋審判長の訓示、選手の宣誓を終つていよいよ競技開始なる。各方面の應援は亦奇拔、思ひの趣向を凝して、糸亂れざる團長の統制下に踊る、跳る、歌ふ、ただ相撲つ競技の進行に連れ、一勝一敗毎に拍手の津浪を凱歌の雄波の聲だ。本年新案の樽廻し横退進退一寸拜借首誠法競技に至つては正に滑稽百パーセントである。殊に小學男生八百リンドでは、先生も父兄も大に氣をもむ。接戦又接戦、テーパーは第二組に切られた。勝つた！勝つた！勝つたぞ！先生の目にも父兄の目にも嬉し涙があふれて居る。斯くして幾多の記録をつくつて、高坂一二五点、綴一六六點、町田七四點、工作三〇點の成績を以て終了し、夫々優勝旗は會長の手より渡された。満場拍手のエイルを送り、感激に満ちた一シーンを展開し、國歌奏樂裡に國旗降下を終り、目出度く閉會せられた。

北 海 道 通 信 (二)

大 内 一 郎

一昨年山火事の爲めに、此附近一帯がやかれ、薪の焼枝が澤山あるので、それを集めてストーブに焚きます。が、よくもえるので助かります。之が宮澤ならば、村上さんの焼芋の燃料にはもつて来たんだと思ひ家のまはりが廣々として居るのを見ては、小林さんや佐藤さんが、お守りをするのによい處だと思ひ、あたりの景色を見ては、竹内さんが此處で暮せば、いくらが長命されるだらうと思ひ、國分さんが此處に居られたら、生花の材料に不自由される事はあるまいと思ひ、又此二階で皆さん御歌をあげたら、どんなにか楽しいだらうなと思ひ、事毎に皆さんの上を懐しんで居ります。此邊は熊の澤と申して以前は



天 長 節 祝 賀 記 念

熊 が出た處だそうですが、一昨年の山火事以來、居らぬらしいですが、たまには出るそうです。熊に喰はれたら皆さんから御歌を上げていただきますよ。十八日から他は預けて置いた馬も連れて来ましたので、人四人馬二頭で仲々賑かです。それに風の奴も、そと、仲間入りして来た様です。今しも福壽草が到る處に咲き匂ふ静寂な

大 自然に抱かれて居る北清水に皆様がうちつれて杉田へ来られた様に、御出願ひたいもの念じて居ります。家の中のポンプ井戸は、土が凍つて居るので今の處水が出ませんが、それこそ活潑な谷川が音たて、流れて居るの、水には不自由いたしません。朝起

きて其川で顔を洗つた時の氣持は筆紙にはつくされません。實に住み心地居心地のよい處です。御近所の皆様から、澤庵、大根、かんぶら、れぎ等をふんだんにいただいて暮して居ります。それから家の中は外に居る様に明るくて、心持ちよう御座います。漸く本日カーテンを全部仕附けた處です。之からひまある毎に、押入の整理もせればならぬと思つて居ります。風呂場もやつと完成して十日目に入浴した始末です。昨日又家内中總かゝりて大

飯の代りに小豆御飯を炊き、九時より支關前で、遙か宮城の方角に面して、君が代合唱、勸進奉還(年長者の故を以て私が、拜讀いたしました)天長節の唱歌、聖壽萬歳三唱の順序で式を擧げ、記念撮影をいたしました。三本の旗を組んで國旗の足さしたあたり、如何にも移住農民的でせう。あはれまじ、日を祝ふ今日哉

開 拓 記 録

大 内 一 郎

(前略) こちらの生活にもすつかり馴れてきて、此頃は御飯に稻黍(いなぎ)をまぜて食べたりして居ります。お母さん、一生懸命に、家の中で大工をこたり、土工をこたり大工です。本日午前中敏夫君と共に、市街(清水)に行き運送屋から荷物をまつて来ました。明日もう一回ゆけば、全部片付くわけです。道も稍よくなりました。午後五時境界線、火防線を切り始めました。三間以上の中に、熊笹を刈らねばならぬので、なか／＼骨です。すつかり用意が出来たら營林署出張所に行つて許可証をもらつて来なければなりません。此頃毎朝四時半から五時迄には起き、馬の飼付、手入れ朝仕事で一時半ばかりか、朝食を食へて七時半に仕事に出て十二時か、十二時半に朝食をとり、一時過ぎから六時半又は七時迄仕事をすので、一日十時間から、十一時間労働です。左様自立つた仕事の跡もないのですが、なんだか、かんだか忙しいです。もう少しつたらうまく順序を立て、やつて行たいと思ひます。今晩は之で御免蒙ります。(以上四月十五日夜九時)

煙 突をたてた處なので、書いても書いても書きつづけてもせんから、詳しくは歸宅の折に、ゆつくりお話をした事として御筆いたします。未筆ながらごなされた様もお寺にお出で下さい。何れ其内にお便り上げたいと思つて居ますが、皆様の御健康をお祈りつ、日が照り出したので、松植にまじりかゝつた三男児の笑聲を聞きつ、したむ。(四月二十三日)

天 長 節 祝 賀

(これは民権宛通信) (前略) 今日(四月二十三日)は、赤

(中學) 次にこちらでは、二十七日に鶯の初音をき、の野笹刈り鶯の初音をき、の野笹刈り百姓生活は體もつかれますが又なか／＼楽しんで居ります。手の方もお蔭で大そうよくなりました。第一肩がこらなくなりました。之から見ると、樂な様でも人の世話が一番毒でないかと思はれます。(後略) (四月二十九日)

團扇整理をして、ブラウインクに取り掛るので、馬にも大に食はせて、元氣をつけて居ます。お母さんは肩もこらないで元氣です。信雄敏夫の兩君も、小生のいふ事をよくきいて、一生懸命やつて居ます。學科の方も夜分暇のある時は、少しづつ、始めました。家内の生活、仕事の段取り、外交等々でなか／＼忙しう御座います。多々益々辨する覺悟でやつて居ります。而して次の通り日課を定めました。午前五時起床、洗面、馬飼付、掃除(階段より下、支關迄は二少年便所は當分小生擔任)四十五分日本體操、馬手入、神佛禮拜。六時三十分朝食、七時出勤、十一時三十分食上り、馬飼付、正午食、午後一時出勤、午後六時作業上り馬飼付手入れ、六時三十分夕食。七時より自他習自由、八時三十分馬飼付、九時就床といふ譯です。忙しい時は朝起きるさすぐ仕事にかゝる段取りです。これは十九日より始めて、着々實行して居ります。朝は全く一分の隙もない位で一同緊張して居ます。作業日誌は毎夕交代でかゝせる事にして居ます。體操も此頃良く覺えて来たので、喜んでやつて居ります。では又お便りいたします。從列りした時の名残り、ペンを持つ手が、アツマ背だらけなので、力がさつぱりは入りまので、よみにくい字が、いよ／＼讀みにくいだらう存じます。御列讀下さい。お父さんの來られる日をお楽しみに待つて居ります。二郎公、巻簾小母さん、馬場さん、星さんにもよろしくお願ひいたします。(以上四月二十三日夜八時)

内 郷 村 報 の

六 大 使 命

- 一、政黨派を超越して、村方充實主義を標榜す。
二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總親和進努力の實現を期す。
三、本村社會事業の徹底を期す。

- 四、村内の善美行を表彰し、且之を奨勵す。
五、本村と本村出身者及本村關係者の聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、貧餘力を以て、國民善導に當る。

本紙發行は内郷一家の事業にして、其の社務は子孫に對する進言を兼ねるものなり。

本紙發行は内郷一家の事業にして、其の社務は子孫に對する進言を兼ねるものなり。

天長節祝賀 従人則

我一家の機關紙たる、内郷村報紙上に於て、衆議院議員并に縣會議員選舉については、同紙第十號一斯くあり

であつた。こゝに於て其具體策を少しく申上ぐる事にいたします。

申せば、嚴密なる意味に於て、何れも選舉法違反の事科者にあらざるなきかと思はるゝのであります。而